

神山復生病院に与えられた使命を果たし続けるために

神山復生病院 看護部長

杉山美貴子

一般財団法人神山復生会神山復生病院は、1883(明治16)年テストウイド神父と水車小屋におられた1人の女性ハンセン病者との出会いから始まった。神父は度々このハンセン病者を訪問し、1889(明治22)年、神山に復生病院を開設された。復生病院は日本で最初のハンセン病療養施設であり、またカトリック病院として長い時間を今も歩み続けている。1935(昭和10)年頃には130名を超える患者が療養していたが、在院者は現在2名となり、病院内にある介護医療院において静かに生活されている。

神山復生病院は2002(平成14)年に新たなスタートを切った。ホスピス病棟と医療療養病棟を開設するとともに、一般外来もオープンした。私が復生病院に就職したのはこの頃である。一人のシスターとの出会いにより、縁が結ばれた。初めて出会った在院者は、皆もの静かで優しかった。敷地内にあるゴルフ場での在院者とのゴルフ大会は、今では懐かしい思い出となっている。少なくなった在院者は高齢となり、様々な病気を抱えるようになった。時には、他病院に入院することもあるが、在院者は必ず、「早く復生に帰りたい」とおっしゃって下さる。その声に私たち職員が応えられるよう、ずっと大切に続けていることがある。それは「一人ひとりの命を大切に」というケアである。「できない、無理」と言わずに「どうすればいいのか」と考える心の持ち方こそが、復生病院が大切にしてきた、病院理念の達成につながるからである。

国は2011(平成23)年に地域包括ケアシステムの構築を義務化した。復生病院も地域包括ケアシステムへの貢献を病院の方針としている。今後、ハンセン病療養施設としての役割を終えた復生病院が歩む道は、地域への貢献である。一人ひとりを大切にという復生病院の理念を継承し、静かに医療活動を継続していくことをこれからも使命としていく。

講師プロフィール

1981年 滋賀県立虎姫高等学校普通学科 卒業
1984年 国立浜松病院附属看護学校 卒業
1984年 富士市立中央病院 勤務
2002年 神山復生病院 勤務
2012年 同病院副看護部長職を拝命
2015年 同病院看護部長職を拝命
2018年 認定看護管理者資格取得
現在に至る

